

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)	
授業科目名：教職教養演習Ⅱ 英語表記：Teaching Professionals Educational AdministrationⅡ ナンバリング：2602			単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：山畑昭司 担当形態：単独
科目／系列		／		
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目		／		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 幼児教育者としての知識を身につけ、専門教養の問題を解く力を身につけることができる。 2. 論文・作文のテーマを理解し、論理的に記述することができる。 3. 個人面接や集団面接、集団討論で、対応力を身につけることができる。				
【授業の概要】 本講義では、公立の保育士・幼稚園教諭を目指す学生を対象に専門教養科目の講義を行い、公務員試験における専門教養を身につけるとともに、小論文・作文の実践をとおして書き方を理解し、併せて個人面接や集団面接及び集団討論も行い、対応力を身につける。				
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】				関連性
【知識・理解・技能】				
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。				○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。				
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。				
【思考・判断・表現】				
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。				○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。				○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。				
【関心・意欲・態度】				
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。				○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。				○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。				
【授業計画】 第1回：オリエンテーション 第2回：演習 数的推理 第3回：演習 数的推理 第4回：専門科目 子ども家庭福祉 第5回：演習 小論文対策 第6回：専門科目 保育内容（音楽） 第7回：専門科目 子どもの保健 第8回：専門科目 社会的養護 第9回：演習 小論文対策 第10回：専門科目 保育原理 第11回：専門科目 保育内容（保育園・幼稚園） 第12回：専門科目 特別支援教育 第13回：専門科目 保育の心理学 第14回：演習 小論文対策 第15回：演習 面接対策、後期試験に向けて 定期試験：筆記			【授業時間外の学習】 ・受験希望の自治体の情報を随時PC等で調べる。 （1時間程度） ・高校時代の教科書、参考書を用いて、自学する。 （各分野1時間程度） ・テキスト中の授業予定分野の練習問題に目を通して授業に臨む。 （1時間程度） ・チューターズルームを積極的に活用する。	

【授業の方法】 講義と主体的な「学び合い」を織り交ぜて行う。パソコン等で調べ学習を行う。 論文作成の柱立てを学び、実際に書き込む。模擬面接を行い、相互評価を行う。授業の振り返りを提出させフィードバックする。	
【テキスト】 『2026年度版 公立保育園&幼稚園をめざす保育士・幼稚園教諭 採用試験問題集 論作文・面接対策』保育士試験研究会編 実務教育出版	
【参考書・参考資料等】 『幼稚園教育要領解説』文部科学省、『保育所保育指針解説』厚生労働省 『市役所上・中級 教養・専門試験 過去問500 2026年度版』資格試験研究会 実務教育出版	
【学生に対する評価】 試験（70％）、提出物（15％）、授業参画度等（15％）。 ループリックを活用し、総合的に評価する。	
【履修上の注意】 ・公務員試験希望者の学生を主な対象とする。教職教養演習Ⅰ(前期)を未履修者も履修可。 ・チューターズルーム・図書館を利用して積極的に予習・復習をする。 ・積極的に学ぶ意欲のある学生の受講が望ましい。 ・2年生前期に公務員試験のほとんどが実施されるため、学びを先取りする意欲が必要	
実務経験の有無：有	実務経験：元公立学校教員採用試験委員
【実務経験を生かした教育内容】 元教員採用試験委員の経験を活かして、問題の解説・論作文・面接指導を行い、公務員試験受験希望者の実力を養成する。	